

平成30年度

事業計画書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

一般財団法人 日本経営史研究所

平成 30 年度事業計画

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

○ 平成 30 年度の事業計画および収支予算の概要

平成 30 年度の事業計画と収支予算の概要は、以下のとおりです。

平成 29 年 4 月に編纂業務を受託いたしました『国分史料集』(仮題)は、平成 31 年 3 月の完成予定を目指して、現在収録史料の選択とデータ入力作業を進めています。

また同年 9 月、新規に受託契約いたしました『井上語録』の編集は、タイトルを『ダイキン躍進のキーワード』(井上語録)と改称、取材・執筆を鋭意進めており、平成 30 年 12 月には日本語版を完成する予定です。あわせて、引き続き英語版、中国版、スペイン語版を刊行する予定であり、日本語原稿の脱稿に合わせて翻訳用原稿の作成と翻訳作業に入れるよう、準備をすすめています。

研究事業ならびに出版計画では、公益財団法人三井文庫とともに共同事業として立ち上げました『三井物産史の研究』につきまして、一昨年度の完成を目標に執筆体制を編成して臨んできましたが、依然として一部資料に欠落などがあって、資料調査・収集上の諸困難を克服できないまま執筆が停滞、さらに資料編の編集めども立たず、大幅な遅れとなっています。本件につきましては、未だ見通しが立たないままですが持ち越し案件として、今後の課題として取り組んで参ります。

平成 24 年にスタートしました『産業経営史シリーズ』は、第 11 冊目の『グローバル企業』、第 12 冊目の『電機産業』、第 13 冊目の『自動車工業』につきまして、昨年度中の刊行を企画していましたが、いずれも執筆者の多忙なために原稿が遅れており、平成 30 年度中に刊行できるよう努力しています。また『金融』編を、第 14 冊目として企画をスタートさせることができました。

本年は、日本経営史研究所が設立して 50 周年を迎えるため、その記念となる小冊子を企画し、本年秋の完成を目指して目下執筆が進行しています。

経営史料センターの活動としましては、本年も会社史の収集を継続して行ないながら、内外の研究者・関係者のニーズに応えるべく閲覧に供してまいります。

また本年は、1978 年に隔年事業としてスタートした「優秀会社史賞」の第 21 回選考を開催する年に当たります。本賞は、産学協同の催しとして広く関心を持たれるようになっていきますので、そのための事務局として会社史を収集、第 1 次選考を 4~6 月に、本選考を 7~9 に開催し、11 月 5 日には企業史料協議会との共催事業として「優秀会社史賞」の発表・報告会を行うこととなっています。

日本経営史研究所が、創立以来事務局を引き受けてきました企業史料協議会につきましては、本年度も従来通りの支援活動をつづけてまいります。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも国内的のにも関心を持たれるようになっており、いっそうの協力・支援を行なう所存です。

本年度の収支予算は、添付の収支予算書のとおりを見込むことになります。

平成 30 年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

1) 「産業経営史シリーズ」 (継 続)

『グローバル企業』『電機産業』『自動車産業』『金融』

2) 『三井物産史の研究』 (継 続)

2. 会社史等の編集受託

1) 『国分史料集』 (完了予定)

2) 『ダイキン躍進のキーワードー井上語録ー』 (完了予定)